

学年・教科・担当者	1年 国語科 阿部 樹弥・長谷川 文子
-----------	---------------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	「朝のリレー」 「言葉に出会うために」 「野原はうたう」 声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	情景などを表す多様な語句に着目し、作品を味わう素養を身に付ける。 音読や発表、作文などの基本的な技法を身に付ける。
	5	「はじまりの風」 情報を的確に聞き取る 「ダイコンは大きな根？」	心情を表す表現や登場人物の行動から、主人公の気持ちの変化を捉える。 段落の役割に着目して文章を読む。
	6	「ちょっと立ち止まって」 「情報整理のレッスン」 「空の詩 三編」	身近なものについての説明文を読み、使われている言葉の意味や内容をとらえる。 文章の中心となる部分を見付け、要旨を捉える。
	7	「情報を集めよう」 「情報を読み取ろう」 「情報を引用しよう」	情報を集め、取捨選択して伝える。 情報の要点を押さえて読み取る方法を学ぶ。 情報の適切な引用の仕方を学ぶ。
2	9	「詩の世界」 「比喩で広がる言葉の世界」	詩の内容を理解し、筆者の考えに触れ、自分なりの感想をもつ。 言葉の違いを理解し、日常生活での使われ方を考える。 言葉の力を読み取り、言葉について考えを深める。
	10	「星の花が降るころに」 「大人になれなかった弟たちに」	場面ごとの情景を読み味わう。 時代や状況の中で自分を見つめる大切さを学び、作者の思いを知る。
	11	「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」 「根拠を示して説明しよう」 「大阿蘇」	図表を読み取りながら、事実とそれに基づく筆者の考えを理解する。 音読の方法を復習しながら詩人の感性に触れる。

	12	【いにしへの心に触れる】「いろは歌」、 「古典の世界」、「蓬莱の玉の枝」、「今 に生きる言葉」 「『不便』の価値を見つめ直す」 「助言を自分の文章に生かそう」	古典に触れ、味わい楽しむと同時に、昔の日本人の考え方や感 じ方に触れ、現代に通じることを理解する 内容を読み取り、要約したり、要旨をとらえたりする。 話し合いの目的を理解し、根拠を明確にして話し合う方法を学 ぶ 観点を決めて作品を鑑賞し、その魅力を伝える文章を書く。
3	1	「少年の日の思い出」 「二十歳になった日」	作品の構成に注意して読み、言動に表れた登場人物の心情を とらえる。 言葉の並べ方の工夫や比喻について理解する。
	2	「構成や描写を工夫して書こう」 「体験を基に随筆を書く」	目的に応じて、自分の考えや気持ちを整理して書く方法を学 ぶ。
	3	「一年間の学びを振り返ろう」 「要点をフリップにまとめ、発表する」	伝えたいことを効果的な図表を用いてフリップにまとめる。

評価について	
評価の観点	評価の方法
①知識・技能	小テスト、定期テスト など
②思考・判断・表現	レポート、定期テスト など
③主体的に学習に取り組む態度	授業中の観察、レポート、提出物 など